

第6回陽だまり～touch A LIFE～(H30.3.1)ふいかえり



地域での“支え合い”の仕組みづくりに関するアンケート 中間報告



前回、メンバーより地域での困りごとやこれから必要となってくるものを把握するために「アンケートをとってみては？」との声がありました。

そこで、昨年10月末より、全行政区のミニデイや小地域協議会等でアンケートを行っています。4月上旬までに全行政区で実施予定ですが、中間報告として速報値をお知らせし、メンバーより感想をいただきました。

【メンバーより】

- アンケートをとったことで、これまで見えていなかった困りごとが見えるようになってきた。
- 老人クラブの高齢者相互支援活動員の見守り活動中、「ミニデイに参加したいけれど、公民館まで歩いていくことができない。」との声があった。アンケートにでてこないところに、困りごとがあるのでは??
- 家族が同居していても、支援を必要としている人がいる。



居場所づくりを広めていくために



これまで、陽だまり～touch A LIFE～では、“居場所”が必要との声が多くあがっていました。「誰もが気軽に参加できる、自由な居場所を作っていきたい。」との思いの一方で、「実際、“居場所”を運営していくためには、どうしてもお金がかかる。」と心配の声もありました。

この声から、町(役場)から居場所づくりの補助金が検討されることになりました。まずは来年度からモデル事業が始まる予定ということで、健康福祉課より説明がありました。メンバーからは、既に行われている分館体操等を活用できないか?との話が出ていました。

※今回のモデル事業は、再来年度の補助金交付実施にむけ、使いやすい補助金をつくっていくための試験的な実施です。



【メンバーより】

- 山隈区では、毎週火曜日に分館体操をしています。公民館の冷暖房費として月に100円集めて、余ったお金で月に1回ほどお茶飲みをしています。
- 今区では、月に3回体操をしています。公民館が古いので、地域交流センター丸虹を借りています。月1回は、“サロン”として自由に参加できる集いの場にしています。卓球、麻雀、囲碁、将棋、お茶飲みなど好きなことをして楽しんでいます。
- 守部区でも、毎週水曜日に分館体操があります。1時間くらい体操をして、1時間くらいはお茶飲みをして計2時間ほど。区長さんに相談してみては?

今回は、使いやすい補助金を作っていくために、メンバーの率直な意見を伺いました。居場所をつくるために、この補助金を活用するのも1つの手段ではありますが、集まりの場によって、やりやすいやり方は違ってくると思います。まずは、その場にあった、無理なく活動が続けられるやり方で、誰もが気軽に参加できる場をつくっていくことが大切ではないでしょうか。

